

CEOなりすまし 詐欺対策ガイド

「緊急」と「社外秘」の嘘から
会社を守るために

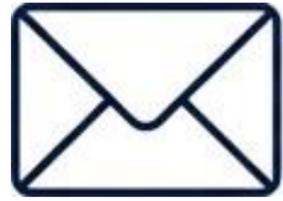
対象：社長・経営層・管理部門・経理・人事



金曜日 016:55 社長からのメール。あなたなら送金しますか？



社長になりすました詐欺とは



SMS

**社長・役員・上司になりすまし、
社員に「緊急」「内密」「今すぐ」を
理由に送金・情報提出をさせる詐欺**



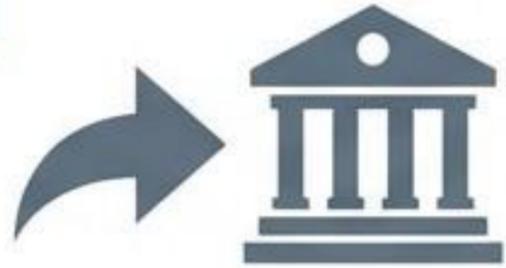
(Teams / Slack /
LINE WORKS)



電話
(ボイスフィッシング)

被害多発：金銭を狙う手口

01



緊急送金指示型 (最頻出)

「至急、今日中に振込が必要」
「取引先への支払い、
私の判断で進めて」
「今会議中だから確認は後で」

経理・総務が狙われやすい

02



ギフトカード・ 電子マネー購入型

「お客様へのお礼で使う」
「社外秘だから立替で」

数万円～数十万円でも気づきにくい

03



取引先変更・ 口座変更指示型

「振込先が変わった」
「請求書を差し替えた」

手口の進化：情報搾取とチャットツール

保証密査

個人情報・社内情報搾取型

- ・従業員名簿
- ・マイナンバー有無
- ・顧客リスト
- ・ログインID

⚠ 情報漏えい事故として後から発覚

WARNING

急増中

チャットツール悪用型



Slack / Teams
で社長名義。
プロフィール画像
までそっくり。



メールより警戒心が下がる

嘘の解剖学：なぜこの文面が機能するのか

判断を急がせる
(思考停止)

〇〇さん、**[急ぎの案件]**です。

[今すぐ]確認・対応してください。

[詳細は後ほど]説明します。

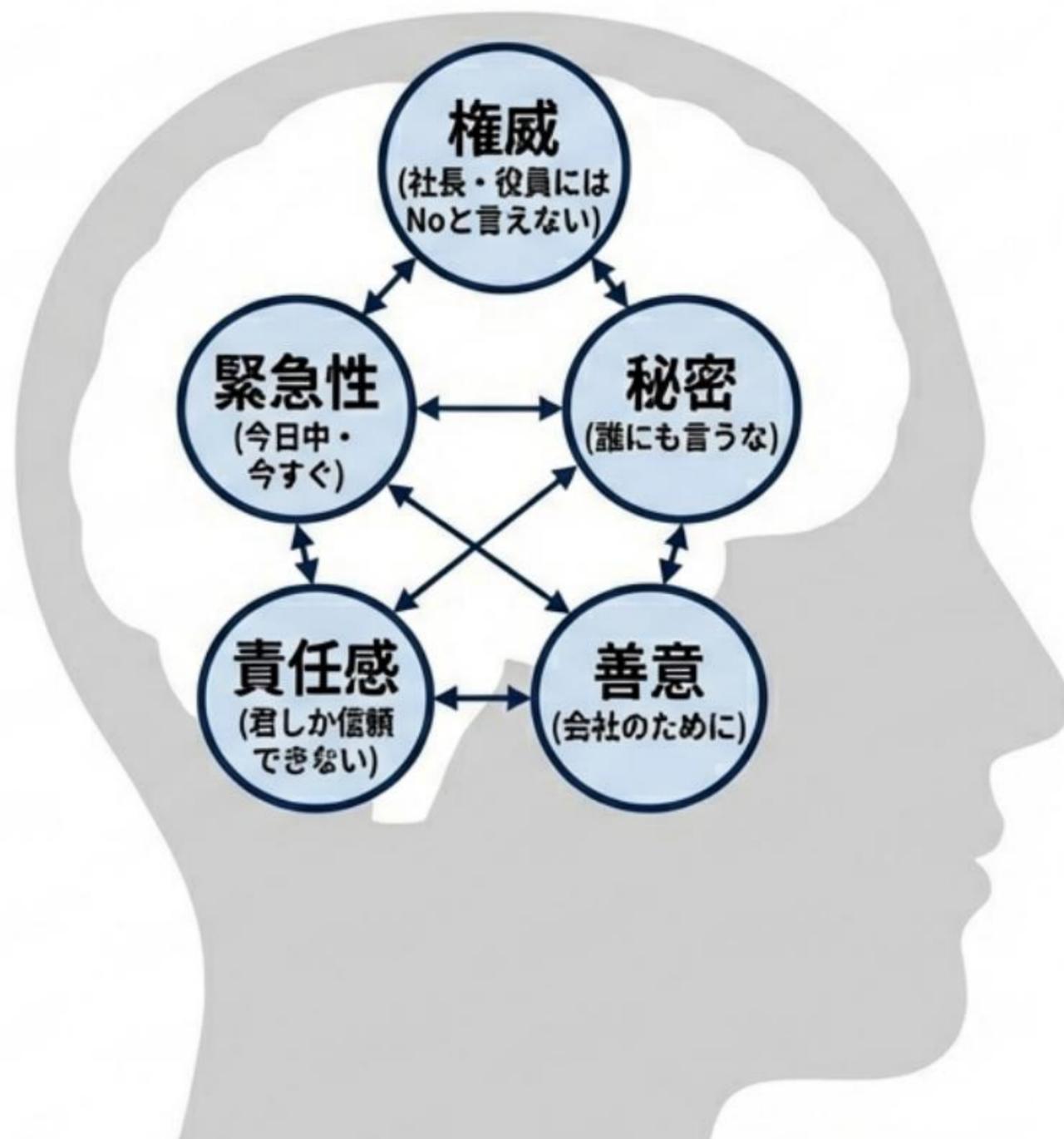
まずは以下対応をお願いします。

[社外秘]のため、**[他言無用]**で。

相談させない
(孤立化)

具体的内容を
書かない
(証拠回避)

これは「ITの問題」ではなく「人の問題」





被害が起きる会社の共通点

共通点チェックリスト

- 社長＝絶対的判断者
(トップダウンが強い)
- 送金ルールが曖昧
- 口頭・メール指示が通る文化
- 「うちは大丈夫」という空気
(正常性バイアス)
- 教育は年1回の座学のみ

セキュリティ対策：鉄の掟

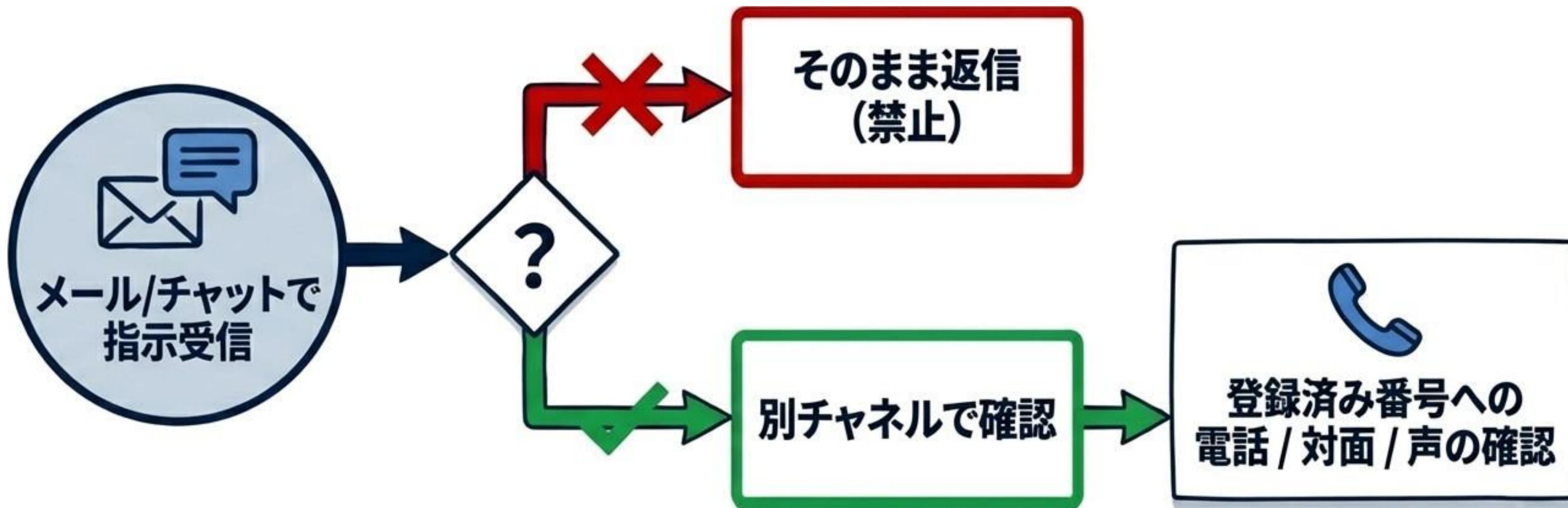
Rule 01: 送金・情報提出は必ず複数確認

Rule 02: メール・チャット指示だけでは実行不可

Rule 03: 金額に関わらず例外なし

運用ルール 確認のプロセス

「社長を名乗る指示」=即確認



システムによる防壁

Human Rules (e.g., Rule 01, 02, 03 & Verification Proctess)



Technology Must Have

必須：社内チャットの二要素認証 (2FA)

必須：メールなりすまし対策 (SPF / DKIM / DMARC)



Recommended

推奨：管理者権限の定期的な棚卸し

演習：これは実行する？止める？

Scenario

「社外秘案件だ、すぐ送金して」メール

Answer

STOP & VERIFY

理由：社外秘案件

Scenario

上司からSlack。新しいアイコンでファイル要求。

Answer

VERIFY

理由：プロフィール変更

Scenario

取引先から「請求書の口座が変わった」

Answer

VERIFY

理由：口座変更

“気づき”が最大の価値

だけ

詐欺を止めるのは、ファイアウォールではなく
「違和感への問いかけ」です。

迷ったら、止める勇気を。